

授業コード	520175	オムニバス	
科目名	協働デザインの手法（Method for Collaborative Design）		
配当学年	2	単位数	2
年度学期	2024年度 秋学期	曜日時限	木曜3限 木曜4限
対象学科	建_建築_Lコース	コース	
科目区分	専門科目	必選の別	選択科目
担当者	菊地 純平		
教室	W2-2F		
実務家教員 担当授業	担当教員の菊地純平は、公民連携やまちづくりにおけるプロジェクト推進やワークショップ等の実務経験がある。その経験を活かし、まちづくりにおいて、様々な職種との協働によって、場づくりやものづくりに取り組むための実践的な実例を授業で扱っている。		
授業の目的 と進め方	【授業の目的】学生が、健康や生活上の課題を持つ人や地域などを対象として、当事者、保健、医療、福祉の専門職、アーティスト、デザイナー、工学技術者など様々な立場や職種の人がチームとなり、協働で課題を発見または解決し、創造的な構想を行うために必要な基本的な考え方や知識・技術を習得する。そのため、本授業は講義およびグループワークによって構成される。		
達成目標 1	健康や生活上の課題を持つ施設や地域において、保健医療福祉の専門職、アーティスト、デザイナー、工学技術者など、様々な専門分野による協働・連携の意義・方法を説明できる。【40%】		
達成目標 2	様々な専門分野との協働を想定したグループ・ディスカッションやデザインにおいて、ファシリテーションやチーム形成のマネジメントを行うことが出来る。【30%】		
達成目標 3	リフレクションの理論と手法を身につけ、個人およびグループでの体験を内省・考察することで、その成果や課題を発見し、次なる活動へと反映させることが出来る。【30%】		
達成目標 4			
達成目標 5			
達成目標 6			
達成目標 7			
アクティブラーニング			
ディスカッション	○	ディバート	
			グループワーク
			○
プレゼンテーション	○		
実習		フィールドワーク	○
その他課題解決型学習			
	授業計画		授業時間外課題（予習および復習を含む）
第 1 回	協働によるデザインの意義		協働デザインの意義に対する自分の理解をノートにまとめておく（2 時間）
第 2 回	グループでのディスカッションとデザイン（1）話し合いの基本的スキル		話し合いの基本的スキルについてノートにまとめておく（2 時間）
第 3 回	保健医療福祉分野の専門職、建築・まちづくりを担う専門職		保健医療福祉分野の専門職、建築・まちづくりを担う専門職について事前に調べておく（2 時間）
第 4 回	グループでのディスカッションとデザイン（2）アイデアの発散・収束方法		アイデアの発散・収束方法を復習し、他の課題や日常生活にも応用させて練習する（2 時間）
第 5 回	保健医療福祉分野での協働デザイン		保健医療福祉分野での協働デザイン の事例を調べる（2 時間）
第 6 回	グループでのディスカッションとデザイン（3）ファシリテーションの方法		ファシリテーションの方法について復習し、他の課題や日常生活にも応用させて練習する（2 時間）
第 7 回	建築・まちづくり分野での協働デザイン		建築・まちづくり分野での協働デザインの事例を調べる（2 時間）
第 8 回	グループでのディスカッションとデザイン（4）コンセプトを視覚化する方法		コンセプトを視覚化する方法について復習し、他の課題や日常生活にも応用させて練習する（2 時間）
第 9 回	協働デザインのプロセス		協働デザインのプロセスについて、自分の理解をノートにまとめておく□（2 時間）
第10回	グループでのディスカッションとデザイン（5）チーム形成の理論と手法		チーム形成の理論と手法を復習し、他の課題や日常生活にも応用させて練習する（2 時間）
第11回	協働デザインによる問題発見・解決の手法（1）		協働デザインによる問題発見・解決の手法についてノートにまとめておく（2 時間）
第12回	グループでのディスカッションとデザイン（6）リフレクションの理論と手法		リフレクションの理論と手法についてノートにまとめておく（2 時間）

第13回	協働デザインによる問題発見・解決の手法（2）	協働デザインによる問題発見・解決の手法について、自分の考えを述べることができるようにノートにまとめておく（2時間）
第14回	まとめ	全授業で学んだことをノートにまとめておく（2時間）

課題等に対するフィードバック	提出された課題等は、授業時間内で講評・解説を行う。
評価方法と基準	平常点【50%】、レポート課題【50%】
テキスト	授業中に随時配布する。
参考図書	
科目の位置づけ（学習・教育目標との対応）	「生活空間の設計Ⅰ」（3年春）、「専門職連携実習」（3年夏期集中）では様々な立場や分野の人との連携・協働により課題を発見・解決する演習・実習に取り組む。本科目はその上で必要な理論・手法を学ぶ。
履修登録前の準備	「フレッシュマンゼミⅠ・Ⅱ」（1年春学期・秋学期）、「ケア空間体験実習」（1年秋学期集中）で修得した「ヒューマンケア」の考え方や人と向き合う態度について復習しておく。